

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和4年3月22日

公表：令和4年3月31日

事業所名 高島市カンガルー教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3	コロナ対策で部屋を分けて使用できている 児童一人当たりの床面積 2.47㎡以上を満たしている（定員10人）	今後も児の様子に合わせながら、臨機応変に部屋を区切るなど、環境設置の工夫します
	2 職員の配置数は適切である	11	1	嘱託医、指導員、保育士、自発管を適切に配置している 人手が要る場合は、声を掛け合って協力している	配置基準は満たしているが、今後も専門性を活かし、きめ細やかな対応に努めます
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	2	視覚支援の工夫があらゆる場面、場所で行われている 掲示板は、目につきやすい位置にある 活動の流れは、ホワイトボードを利用し可視化し、必要な情報だけを提示するなど分かりやすいよう改善しました	安全性や利便性に配慮した工夫を出来るだけ行い、分かりやすい生活空間になるようにします
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	動線線上に障害物がなく動きやすい 感染症対策（空気清浄機の配置、定期的な換気、おもちゃや共有部分の消毒等）に努めています 児によりクールダウン出来る場があると良い	コロナ感染対策、清潔保持、適温調整に心掛け、心地よく安全に過ごせるよう努めます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	4	会議や振り返りの時間は持っているものの、見直しや再検討などの時間が取りにくく改善まで行かない時もあり今後の課題である 保護者期末アンケート調査を実施し保護者の意向を把握している	職員全員で改善点を検討し、実施・見直し等のPDCAサイクルでより良い支援が出来るよう努めます
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	独自のアンケートを実施し改善に繋げている	昨年、改善点に上がりましたトイレを温めるための暖房器具は設置しました。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	「教室だより」、ホームページ、所内掲示板への掲示等でお知らせしています	引き続き、事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果と改善の内容は、「カンガルー教室だより」とホームページ、事業所内掲示板で公開します
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	9		第三者による外部評価は行っていません
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	オンライン形式での研修も多くなり、多くの職員が受講できるようになった	職員が積極的に参加できるよう、研修の機会を確保します 研修受講後には、職員間で共有する機会を設けます
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	所内のアセスメント会議にて、心理士・指導員全員が支援計画の作成をしている 保護者から提出していただいた記述を基にニーズのは把握している	保護者との懇談、心理士発達相談、保育巡回相談など様々な場面からアセスメントを適切に行い、変化していくニーズにも対応できるよう、計画の作成・見直しを行います
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	4	標準化されたツールはないが、発達検査（新版K式）を実施し保護者と共有している	子どもの状況に合わせたアセスメントツールを活用できるようにします
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	7	身体の育ち、人との関わり、言葉の育ち、気持ちの育ち、生活習慣の育ちに関する具体的な目標や支援内容をより明確に記載できるようにしています	ガイドラインの項目に沿って支援計画を適正に目づ具体的支援内容を記載できるようにしていきます
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	支援計画の進行具合を確かめながら支援している 沿えない場合は職員間で相談、検討している	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2	クラス活動については年度当初に方針会議を実施し指導員で意見を出し合いプログラムを作っています	今後もクラスの療育主担当を中心に職員の意見を反映させながら方針や活動プログラムの検討を行います
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	2	児が馴染みやすいよう一定期間は同じものを楽しめるようにしているが、その中でも変化をつける工夫をしている	様々な研修に参加するなど、新しいプログラムを取り入れる柔軟さを持ちながら、これまで通り職員全体で季節感を感じられるような活動内容を検討します
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	0		
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	朝礼後のミーティングで当日の支援内容や役割分担を確認している		

× 援 の 提 供	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	0	療育終了後、カンファレンスにおいて振り返りをし、職員でチャットでの話題や活療育面での共有をしています	今後も支援計画の目標に基づいた記録をとり、クラスカンファレンスにて振り返りを行い、気付いた点等を共有します
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	職員は支援中にもメモ帳を所持し、細やかな記録を取るようになっています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	1	支援開始3カ月後に計画の見直し会議を行う中で、モニタリングを実施し、必要に応じて支援計画を変更しています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	今年度は担当者が参画している 担当が参画できない場合でも、適切な引継ぎを口頭と記録で行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12	0	保健師、市内の保育園、幼稚園、こども園などの関係機関とは以前より連携が取れている	今後も様々な支援機関と連携し、より良い支援ができるよう努めます
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	0	保健師、市内の保育園、幼稚園、こども園などの関係機関、訪問看護等連携し支援に努めている	安心して通所してもらえるよう、関係機関とこれまで以上に連携することを意識したい
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	3		安心して通所してもらえるよう、医療機関等とこれまで以上に連絡体制を整えるようにしたい
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	2	必要な時には園との情報交換ができています 今後の課題として積極的に情報共有していけるよう検討する必要がある	心理発達相談や保育巡回相談を実施する中で、今後も支援内容等の情報共有と相互連携を図れるようにします
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	3	児が通所されている園を通じて共有している	スムーズな移行ができるよう、保護者や支援機関からの希望に応じて、積極的に情報共有と相互理解を図ります
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	4	滋賀県障害児地域療育連絡協議会に加入し他機関と連携したり研修を受けている 滋賀県立小児保健医療センターから専門職派遣を受け、助言を得ている	滋賀県障害児地域療育連絡協議会に加入し、今後も他の事業所との情報交換を行います 今後も滋賀県立小児保健医療センターから専門職派遣を受け、助言を得ます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	5		併行通園児が多い事もあり、事業所としてあえて交流機会は設けていません
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	4	自立支援協議会への参加はしている	地域課題等を共有できるよう今後も積極的に参加します
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	療育の一部として療育後に担当と保護者との懇談をプログラム化している	今後も毎回の懇談時に支援計画を手元に置き、保護者と共通理解できるようにします 今後も発達相談等の機会に、心理士・療育指導員、保健師、在籍園の関係者で共通理解ができるようにします
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	2		親子で一緒に通所していただくことが何よりも対応力の向上に繋がっていると考えています 保護者や家族が来所しやすい雰囲気作りに努めます	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	3	見学時やオリエンテーションで説明し、不明な点については個別対応している	必要に応じて口頭等での丁寧な説明を行います
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0		これまで通り、児童発達支援管理責任者と療育担当から「児童発達支援計画」の説明を保護者に行い、同意を得て支援を実施します

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	相談内容により専門職（医療相談や行政手続き等）と連携をとっている	これからも相談しやすい雰囲気作りや関係作りに努めます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3		今年度はコロナ禍で保護者全体が交流できる行事や研修会が中止となった コロナが長引く状況下でも保護者同士の繋がりを支援できる仕組みを検討します
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	所内の専門職が協力して解決方法を検討し、適切に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	毎月、教室たよりを発行している	「カンガルーたより」の発行を継続し、活動概要や行事予定の発信だけでなく、実施している様々なアンケート結果の開示や、保護者の思いや意見などを掲載します またホームページも積極的に活用するようにします
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	1	高島市情報セキュリティポリシーを遵守し個人情報の保護に努めています	複数の職員でチェックするなど、今後も取り扱いは十分注意します
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1		写真や絵カードの活用、身振り・手振り・手話など、子どもに合わせた方法を用いて、意思疎通や情報伝達の工夫を今後も行います
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	6		保護者の意向を大切にしながら、地域との交流方法については検討したい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	1	「利用のしおり」に災害時対応マニュアルを掲載し、周知するようにしています	様々な状況に応じた対応マニュアルの策定や訓練について出来るだけ早期に検討を始めます 「しおり」に災害時対応マニュアルを掲載し、周知するようにします
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	地震・火災に対する訓練を中心に行っている	今後も地震や火災など様々な状況を想定した訓練を実施します
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	1	保護者から提出された「おたずね用紙」にて把握し、直接保護者からの確認も行います	保護者から提出された「おたずね用紙」にて把握し、直接保護者からの確認も行います
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	5	食事の提供はしていないが、食物アレルギーやその他の疾患についても職員間で共有している	保護者から提出された「おたずね用紙」にて把握し、直接保護者からの確認も行い、必要に応じて医師からの指示書に基づく対応をします
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1	書面で記録している	口頭だけでなく、事例を蓄積して事例集を作成できるようにします
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	4	研修を受けたものが職員会議で復命している	市要保護児童対策地域協議会主催の研修会に積極的に参加します
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	11		自傷・他害の危険性がある場合は、組織的に対応を考え、保護者等への事前説明を行った上で、児童発達支援計画に記載します